

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

— 生乳の生産量は4.2%減少 —

生乳の生産量は729万8,933 tで、前年に比べ31万8,540 t (4.2%) 減少した。

図1 生乳の生産量の推移 (全国)

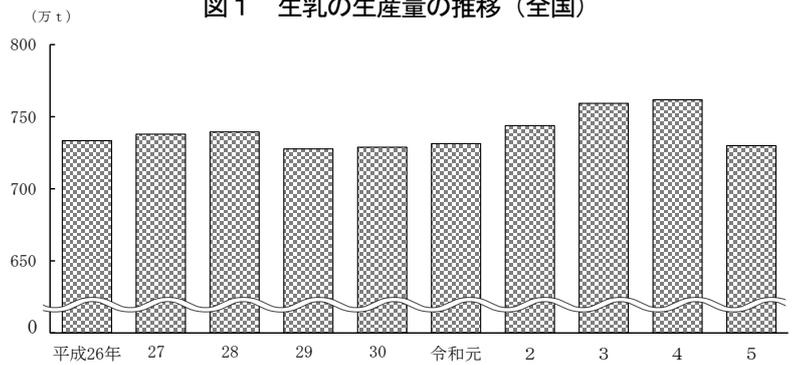
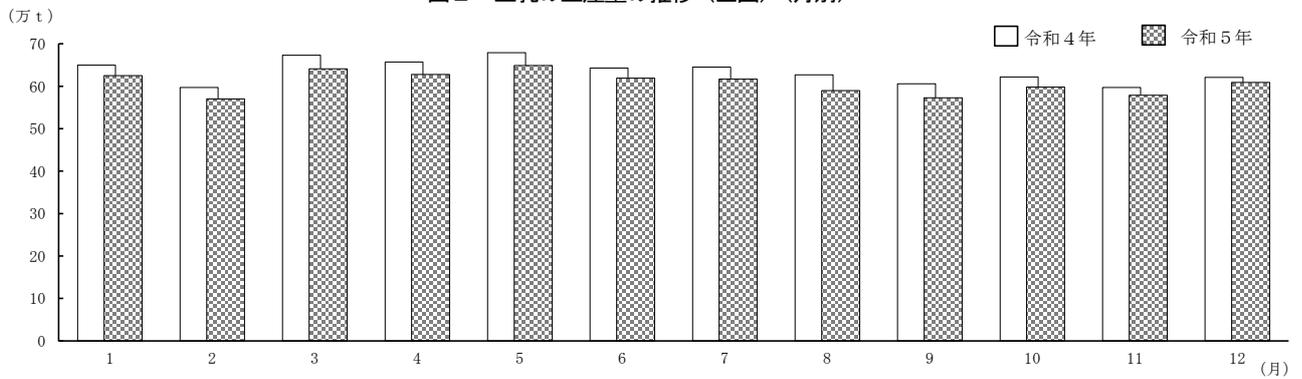


表1 生乳の生産量 (全国、北海道・都府県別)

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
令和4年	7,617,473	4,309,275	3,308,198	100.3	101.0	99.5
5	7,298,933	4,146,981	3,151,952	95.8	96.2	95.3

図2 生乳の生産量の推移 (全国) (月別)

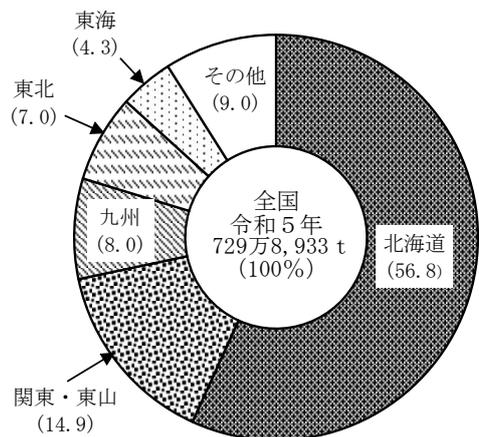


(2) 全国農業地域別生乳生産量

— 北海道の生乳生産量シェアは56.8% —

生乳の生産量を全国農業地域別にみると、北海道が414万6,981 t (全国に占める割合56.8%) で最も多く、次いで関東・東山が108万9,625 t (同14.9%)、九州が58万2,039 t (8.0%) の順となっている。

図3 生乳生産量シェア (全国農業地域別)



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある (以下同じ)。

表2 生乳の生産量 (全国農業地域別)

年次	単位：t										
	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和4年	7,617,473	4,309,275	543,160	74,553	1,135,716	326,154	159,840	317,274	112,289	617,496	21,716
5	7,298,933	4,146,981	510,631	69,313	1,089,625	312,639	151,388	307,311	108,995	582,039	20,011
対前年比 (%)	95.8	96.2	94.0	93.0	95.9	95.9	94.7	96.9	97.1	94.3	92.1

(3) 用途別処理量

— 牛乳等向けは3.2%減少、乳製品向けは5.3%減少 —

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は385万302tで、前年に比べ12万6,355t(3.2%)減少し、乳製品向け処理量は340万2,222tで、前年に比べ19万1,986t(5.3%)減少した。

図4 牛乳等向け及び乳製品向け処理量の推移(全国)

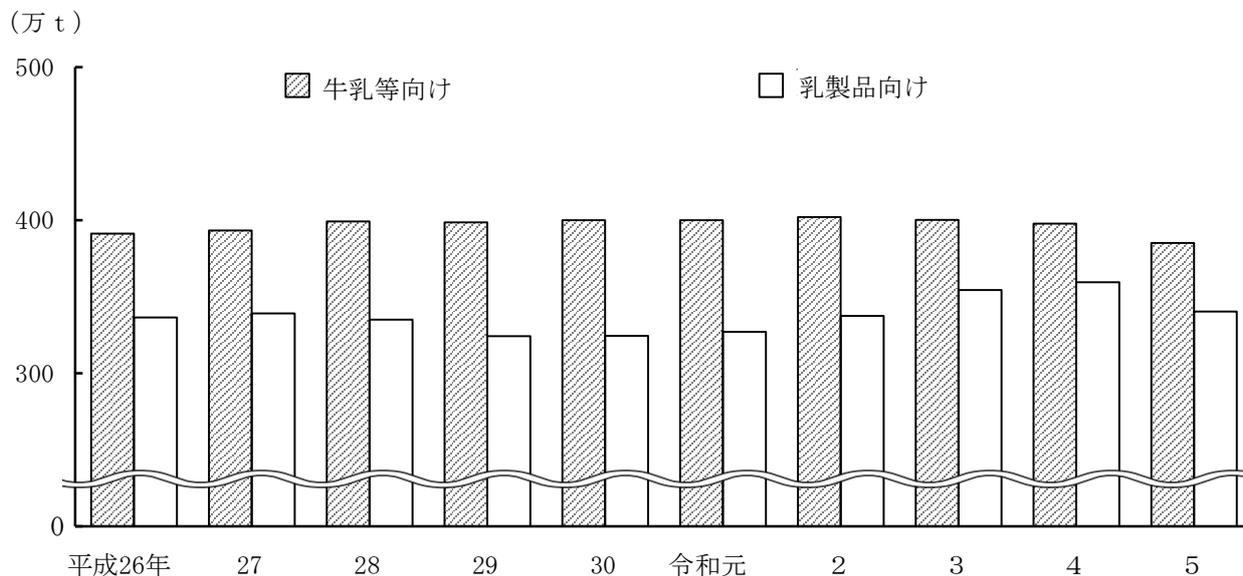


表3 生乳の用途別処理量(全国)

単位：t

年次	生乳生産量	用途別処理量				その他
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	チーズ向け	
令和4年	7,617,473	3,976,657	321,627	3,594,208	469,543	46,608
5	7,298,933	3,850,302	297,439	3,402,222	450,609	46,409
対前年比(%)	95.8	96.8	92.5	94.7	96.0	99.6

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

― 牛乳の生産量は 2.9%減少 ―

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は308万6,762k1で、前年に比べ9万961k1(2.9%)減少し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は38万1,638k1で、前年に比べ4,310k1(1.1%)減少した。

図5 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳の生産量の推移(全国)

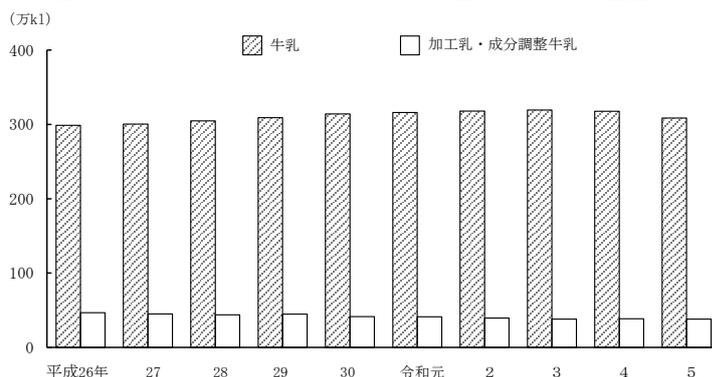
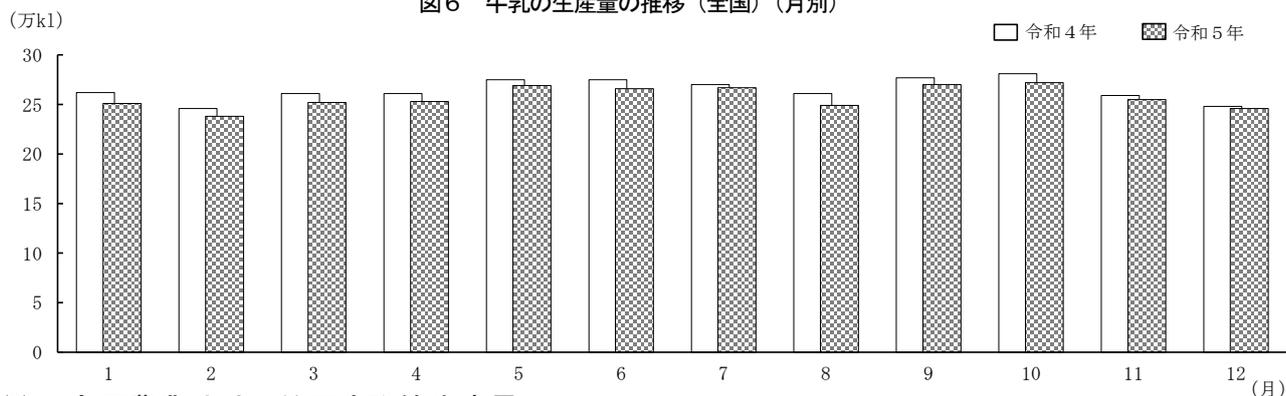


表4 飲用牛乳等の生産量(全国)

単位：k1

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
令和4年	3,563,671	3,177,723	296,990	385,948	61,961	255,222
5	3,468,400	3,086,762	273,851	381,638	70,709	237,636
対前年比(%)	97.3	97.1	92.2	98.9	114.1	93.1

図6 牛乳の生産量の推移(全国)(月別)



(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

― 関東・東山の飲用牛乳等生産量シェアは 34.2% ―

飲用牛乳等の生産量を全国農業地域別にみると、関東・東山が118万6,167k1(全国に占める割合34.2%)で最も多く、次いで北海道が54万6,078k1(同15.7%)、九州が38万655k1(同11.0%)の順となっている。

図7 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

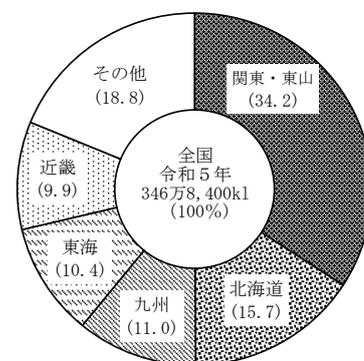


表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

単位：k1

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和4年	3,563,671	574,523	219,912	75,361	1,195,248	372,146	365,709	257,114	90,630	390,709	22,319
5	3,468,400	546,078	213,374	73,751	1,186,167	359,353	343,983	258,018	87,079	380,655	19,942
対前年比(%)	97.3	95.0	97.0	97.9	99.2	96.6	94.1	100.4	96.1	97.4	89.3

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量

－ はっ酵乳の生産量は 6.3%減少 －

乳飲料の生産量は106万8,946k1、はっ酵乳の生産量は99万5,523k1、乳酸菌飲料の生産量は9万7,402k1で、前年に比べそれぞれ8,455k1(0.8%)、6万7,264k1(6.3%)、8,507k1(8.0%)減少した。

図8 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移(全国)

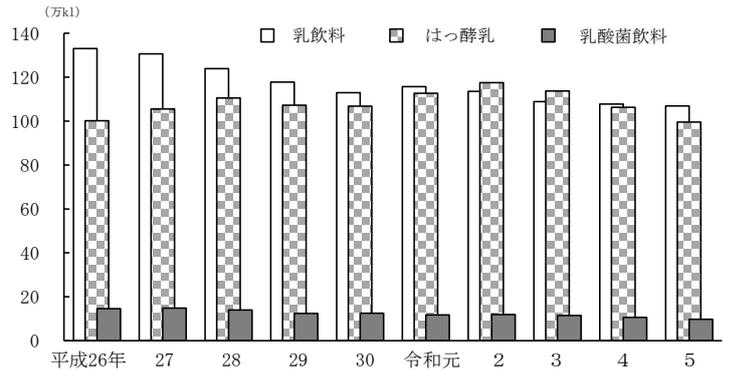


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量(全国)

単位：k1

年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
令和4年	1,077,401	1,062,787	105,909
5	1,068,946	995,523	97,402
対前年比(%)	99.2	93.7	92.0

図9 乳飲料の生産量の推移(全国)(月別)

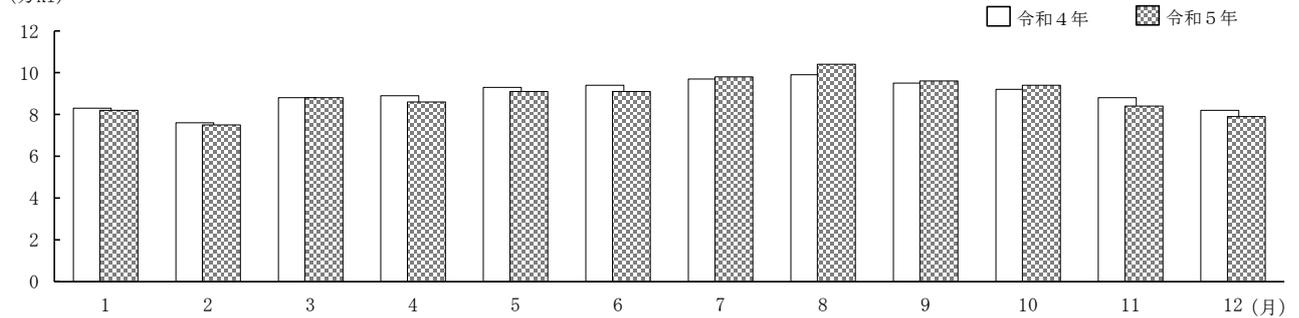


図10 はっ酵乳の生産量の推移(全国)(月別)

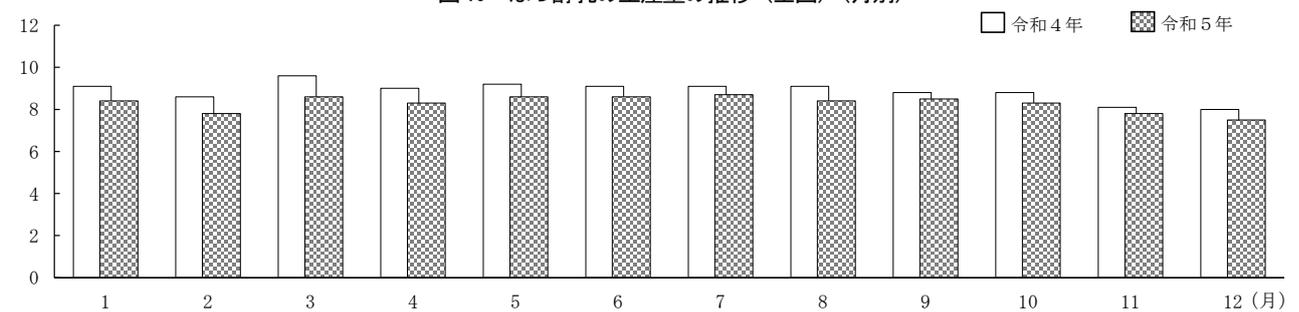
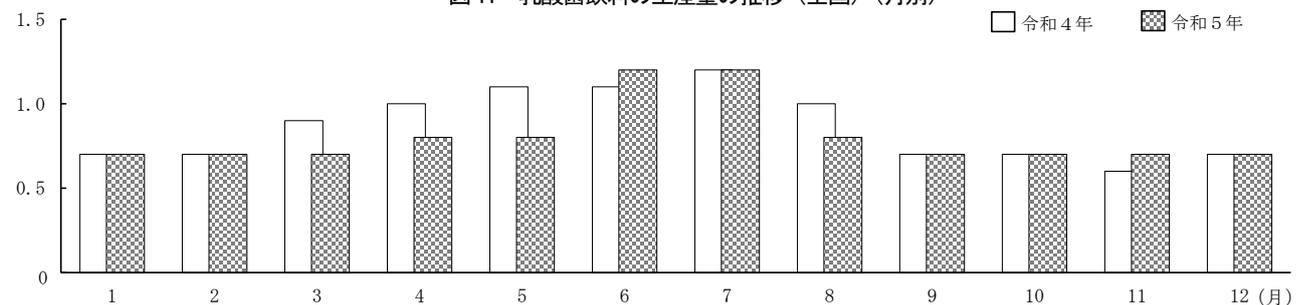


図11 乳酸菌飲料の生産量の推移(全国)(月別)

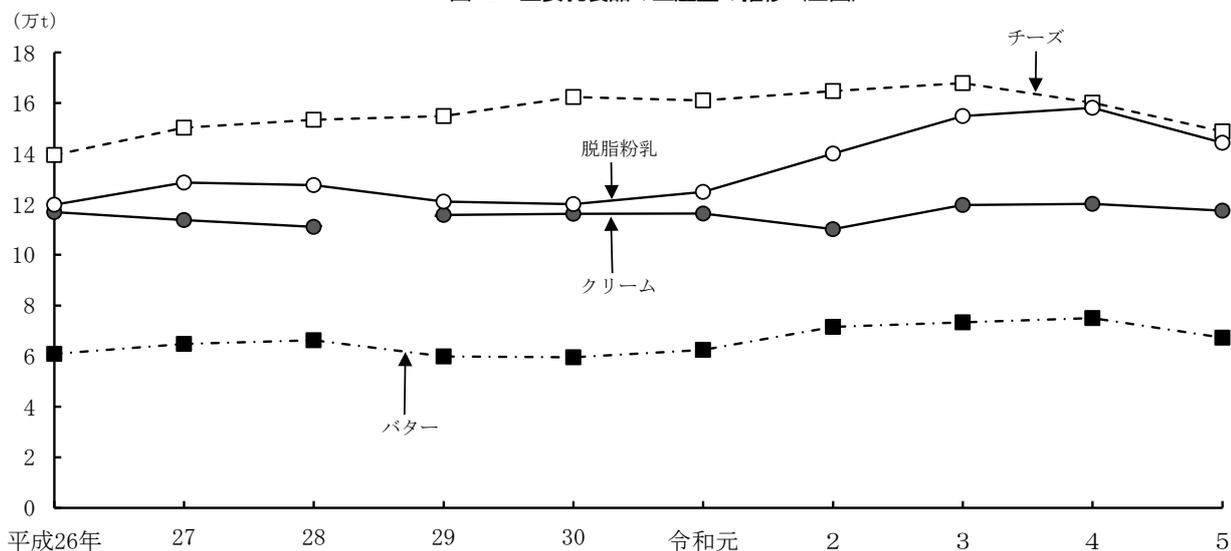


3 乳製品生産量

— チーズの生産量は7.1%減少 —

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は14万4,284t、バターは6万7,337t、クリームは11万7,379t、チーズは14万8,808tで、前年に比べそれぞれ1万3,816t（8.7%）、7,709t（10.3%）、2,725t（2.3%）、1万1,310t（7.1%）減少した。

図12 主要乳製品の生産量の推移（全国）



注：平成29年1月調査から調査定義を変更したため、平成28年と平成29年のクリームの生産量は連続していない。

表7 乳製品の生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
令和4年	10,022	158,100	28,271	18,978	75,046	120,104
5	10,515	144,284	29,902	17,807	67,337	117,379
対前年比 (%)	104.9	91.3	105.8	93.8	89.7	97.7

年次	チーズ		プロセスチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	直接消費用ナチュラルチーズ						
	t	t	t	t	t	t	kl
令和4年	160,118	35,091	125,027	31,113	321	3,221	141,634
5	148,808	33,785	115,023	30,186	420	3,235	134,517
対前年比 (%)	92.9	96.3	92.0	97.0	130.8	100.4	95.0

図13 脱脂粉乳の生産量の推移（全国）（月別）

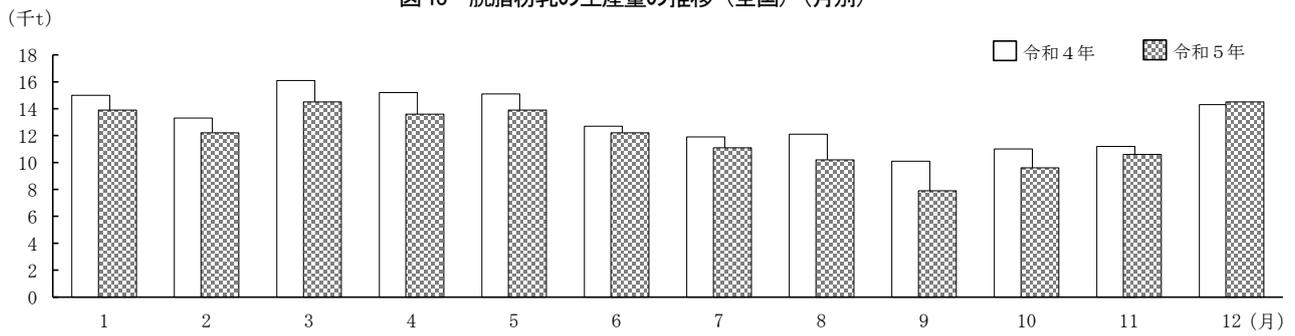


図14 バターの生産量の推移（全国）（月別）

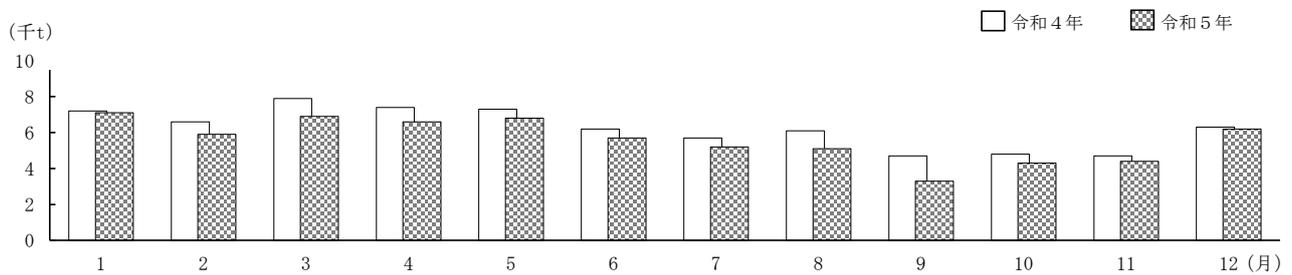


図15 クリームの生産量の推移（全国）（月別）

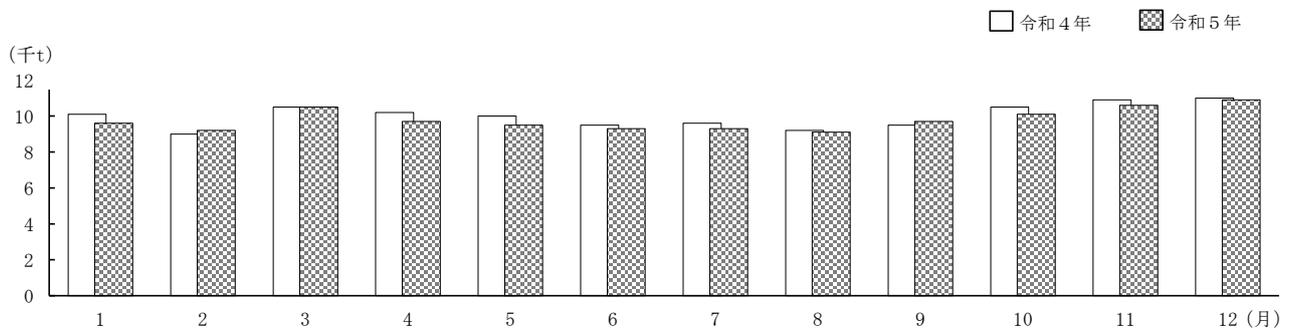
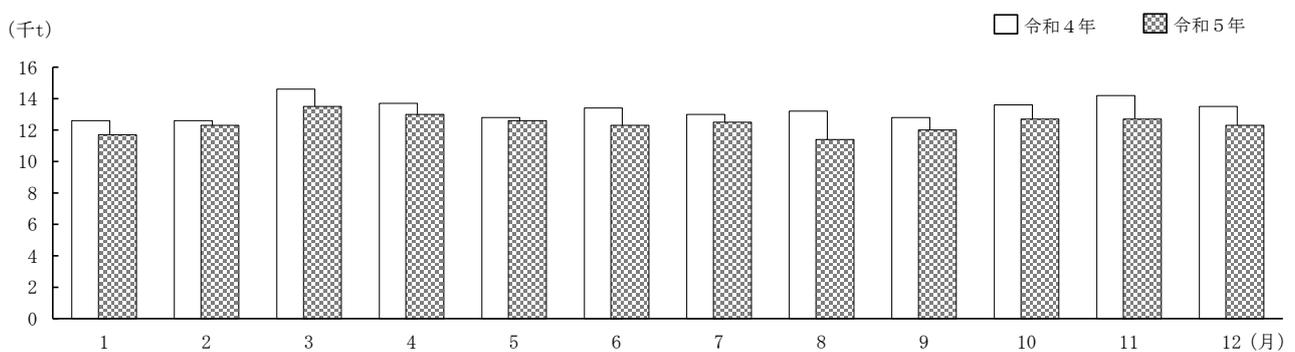


図16 チーズの生産量の推移（全国）（月別）



4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

一 牛乳処理場・乳製品工場数は542工場

令和5年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は542工場で、前年に比べ3工場減少した。

内訳をみると、牛乳処理場が332工場で、前年に比べ13工場減少し、乳製品工場が151工場で、7工場増加した。

また、生乳処理量規模別にみると、1日当たり2t以上の工場数は、牛乳処理場が182工場で、前年に比べ1工場減少し、乳製品工場が38工場で前年に比べ1工場減少した。

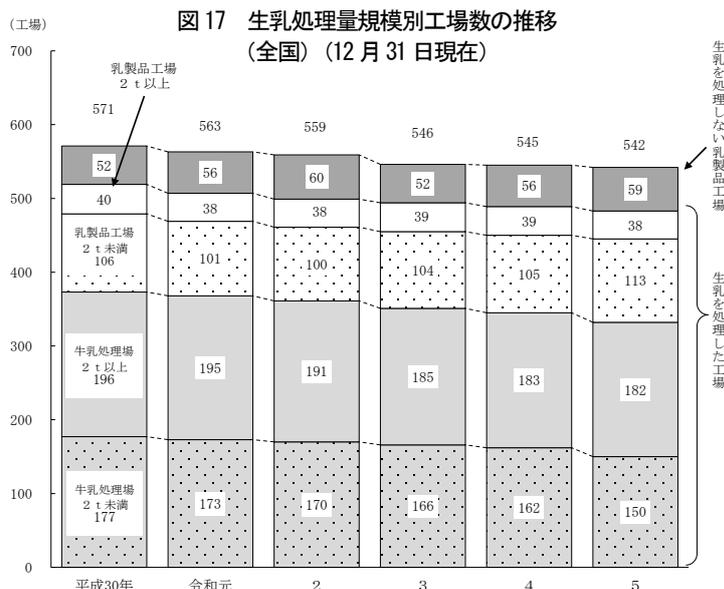


表8 生乳処理量規模別工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない乳製品工場
		計	牛乳処理場			乳製品工場			
			小計	2t未満	2t以上	小計	2t未満	2t以上	
令和4年	545	489	345	162	183	144	105	39	56
5	542	483	332	150	182	151	113	38	59
対前年差	△ 3	△ 6	△ 13	△ 12	△ 1	7	8	△ 1	3

注：1 生乳処理量規模別は、12月における1日当たりの生乳の平均処理量を基に区分した。

2 本統計表では、生乳を処理した工場の分類として、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」としている。

(2) 全国農業地域別工場数

一 関東・東山の工場シェアは26.6%

全国農業地域別の工場数をみると、関東・東山が144工場（全国に占める割合26.6%）で最も多く、次いで北海道が123工場（同22.7%）、九州が54工場（同10.0%）の順となっている。

図18 全国農業地域別工場シェア（12月31日現在）

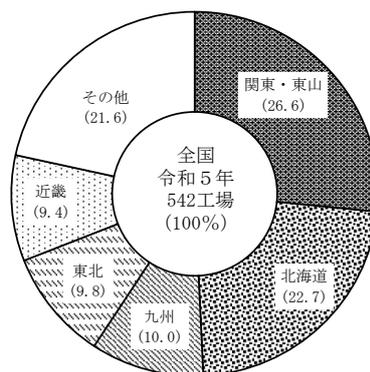


表9 全国農業地域別工場数（12月31日現在）

単位：工場

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和4年	545	124	55	26	142	50	51	28	9	51	9
5	542	123	53	25	144	49	51	26	9	54	8
対前年差	△ 3	△ 1	△ 2	△ 1	2	△ 1	0	△ 2	0	3	△ 1

(3) 製造品目別処理場・工場数

ー 牛乳を製造した工場は 329 工場 ー

飲用牛乳等を製造した令和 5 年 12 月 31 日現在の工場数は 330 工場で、このうち牛乳を製造した工場数は 329 工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は 82 工場であり、乳飲料、はっ酵乳、乳酸菌飲料を製造した工場数は、それぞれ 191 工場、259 工場、33 工場であった。

乳製品を製造した工場数は 334 工場で、このうちチーズを製造した工場数は 194 工場、乳脂肪分 8%以上のアイスクリームを製造した工場数は 120 工場であった。

表 10 牛乳等を製造した工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計 (実数)	牛乳 (実数)	加工乳・ 成分調整牛乳 (実数)		業務用	成分調整牛乳				
			業務用	学校給食用						
令和 4 年	341	340	160	185	89	13	55	191	261	39
5	330	329	154	182	82	16	53	191	259	33
対前年差	△ 11	△ 11	△ 6	△ 3	△ 7	3	△ 2	0	△ 2	△ 6

- 注：1 「計（実数）」は飲用牛乳等を製造した実工場数であり、計と内訳（牛乳（実数）及び加工乳・成分調整牛乳（実数））は一致しない。
 2 「牛乳（実数）」は牛乳を製造した実工場数であり、計と内訳（業務用及び学校給食用）は一致しない。
 3 「加工乳・成分調整牛乳（実数）」は加工乳・成分調整牛乳を製造した実工場数であり、計と内訳（業務用及び成分調整牛乳）は一致しない。

表 11 乳製品を製造した工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年次	計 (実数)	乳製品											乳脂肪分 8% 以上のアイス クリーム	
		粉乳			ホエイ パウダー	バター	クリーム	チーズ (実数)	れん乳					
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳					直接消費用 ナチュラル チーズ	プロセス チーズ	加糖 れん乳	無糖 れん乳		脱脂加糖 れん乳
令和 4 年	334	7	25	5	5	77	73	191	172	23	22	2	10	122
5	334	7	26	5	5	76	71	194	175	23	19	2	10	120
対前年差	0	0	1	0	0	△ 1	△ 2	3	3	0	△ 3	0	0	△ 2

- 注：1 「計（実数）」は乳製品を製造した実工場数であり、計と内訳（各乳製品の工場数）は一致しない。
 2 「チーズ（実数）」はチーズを製造した実工場数であり、計と内訳（直接消費用ナチュラルチーズ及びプロセスチーズの工場数）は一致しない。